

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 40

東北森林管理局

取組名	地域住民への治山情報の提供（継続）
流域名	北上川上流流域
森林管理署名	盛岡森林管理署
実施箇所実施日	盛岡森林管理署北上山国有林1051林班外 平成23年10月25日（火）
取組の背景及び必要性	管内で発生した土砂災害のための復旧工事や治山施設が下流域住民の目に触れる機会が少ないことから、地域住民への説明会や見学会を通じて、治山事業の意義、役割等についての理解の醸成と、合わせて国有林の安全・安心への取組をPRする。
取組の内容	<p>【これまでの取組内容】 下流域住民に対して、災害復旧工事箇所や民有林治山堰堤箇所の見学会を開催。</p> <p>【平成23年度取組内容】 岩手町横沢地区の住民等を対象に、北上川上流流域森林・林業活性化センターとの共催により、民有林及び国有林の治山工事現場を見学。</p>
国有林担当部局・役割	盛岡森林管理署 （企画運営）
連携協働相手先・役割	北上川上流流域森林・林業活性化センター、岩手県、岩手町 （住民の募集、会場提供）
取組の結果、反響、今後の課題等	地域住民及び森林・林業活性化センターの会員を合わせて30名余りの参加者があった。住民からはなかなか見ることが出来ない治山事業現場を見ることが出来、完成後も見学会を開催してほしい旨、意見が出された。引き続き、治山の役割、国有林の役割等をPRしていきたい。
PRの実施状況及びその期待する効果	PR：見学会開催案内を岩手林業新報に掲載したとともに、岩手町横沢地区にて周知。 効果：治山について一定の理解を得られ、地域の防災の参考となる。

【 参 考 資 料 】

取 組 名 地域住民への治山情報の提供（継続）

○民・国連携した流域での治山工事について、県及び森林管理署から説明。



○治山工事現場にて、治山ダムの工法、役割等について説明。



平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 42

東北森林管理局

取組名	松くい虫等の病虫害の被害拡大防止（新規）
流域名	北上川上流流域
森林管理署名	盛岡森林管理署
実施箇所及び実施日	盛岡地区松くい虫被害対策連絡会議（第1回）平成23年 6月29日 （第2回）平成23年10月 5日 （第3回）平成24年3月予定
取組の背景及び必要性	岩手県内における松くい虫被害の最先端地域であることから、早期発見と被害拡大防止に努める。
取組の内容	<p>【平成23年度の取組内容】 国、県、市町村、森林総研、森林組合等が連携して、松くい虫被害の早期発見と連絡体制の強化を図った。</p>
	<p>国有林担当部局・役割</p> <p>盛岡森林管理署 （巡視、情報の収集と提供）</p>
	<p>連携協働相手先・役割</p> <p>盛岡広域振興局、管内市町村、管内森林組合等 （被害情報の共有化）</p>
取組の結果、反響、今後の課題等	連絡会議により各組織の情報の共有が図られたとともに、監視体制や被害発見時の連絡体制が強化された。
PRの実施状況及びその期待する効果	関係団体等への周知 松くい虫被害の早期発見及び被害木処理の迅速化

平成23年度 実施メニュー実施結果表

No. 43

東北森林管理局

取組名	民有林・国有林の森林共同施業団地の推進（新規）
流域名	北上川上流流域
森林管理署名	盛岡森林管理署
実施箇所及び実施日	県振興局、市町村、水源林整備事務所、森林組合等との打ち合わせ、意見交換会等 8月～随時
取組の背景及び必要性	流域内の施業の集約化が進んでいない状況にあることから、民有林・国有林が連携し効率的な森林施業が必要。
取組の内容	<p>【平成23年度の取組内容】 市町村、水源林整備事務所、森林組合等に対して、国有林の森林資源の情報を提供し、意見交換等を行うことにより、今後の森林整備の考え方の共有と、森林共同施業団地の設定に向けた理解の醸成を図った。</p>
国有林担当部局・役割	盛岡森林管理署 (情報の提供)
連携協働相手先・役割	県、市町村、森林組合 (情報の提供、連携)
取組の結果、反響、今後の課題等	森林共同施業団地の設定に向けた一定の理解が得られた。一方で集約化があまり進んでいないことから、森林経営計画策定と合わせた、森林共同施業団地の設定を検討していく必要がある。
PRの実施状況及びその期待する効果	市町村及び森林組合に周知をしており、今後、条件が整えば設定に向けた話が進むと考えられる。